

ラブライブ！サンシャイン!! Find Our 沼津 ～Aqoursのいる風景～

「LoveLive!Days ラブライブ！総合マガジン」で連載中の「Find Our 沼津〜Aqoursのいる風景〜」は、
カメラマン・U5 K氏が写真で切り取る沼津の風景に、イラストレーター・火照ちげ氏が
Aqoursメンバーの日常を重ねて描き出すビジュアル企画。
等身大の女の子として過ごすAqoursの日常のワンシーンを、
思わず足を運びたくなる沼津の美しいスポットとともにお届けします。

CONTENTS

004 内浦 三津漁協前バス停
006 駿河湾と淡島
008 キャンドルナイト in 三津浜
010 狩野川健康マラソン
012 御成橋
014 気多神社
016 長井崎
018 光明寺
020 音楽教室の五線譜の壁
022 沼津こいのぼりフェスティバル
024 浮島ひまわりらんど
026 長浜バス停と虹
028 三津の猫
030 あゆみ橋と満月
032 長井崎バス停前の海
034 三津三差路
036 西浦の歩道橋
038 雨上がりのバス停
040 INN THE PARK
042 沼津港大型展望水門 びゅうお
044 学校への坂
046 長浜の海岸線
048 富士見広場
050 通学路
052 三津橋
054 函館 八幡坂
056 函館 元町公園
058 三津天満宮
060 富士見広場ベンチ
062 びゅうお展望回廊
064 バス停の階段
066 みかん畑から見える景色
068 狩野川のベンチ
070 長井崎電話ボックス
072 沼津御用邸の紫陽花
074 照江寺
076 Blue Cave（淡島遊歩トンネル）
078 内浦長浜からの夕日
080 長浜 地下横断歩道
082 長井崎 ヨットのある通学路
084 戸田 瞽女展望地
086 三津浜
088 三津のヤシの木
090 狩野川堤
092 らららサンビーチ
094 仲見世ランタンフェスティバル
096 上土町バス停
098 香貫公園のイルミネーション
100 井田の菜の花畑
102 あゆみ橋のらせん階段
104 三津浜の河津桜
106 あゆみ橋
108 長井崎からの富士山
110 重須マリーナ
112 伊豆・三津シーパラダイス裏の旧道
114 長浜の海岸線
116 みかん直売所前
118 城下橋
120 井田海水浴場
122 長井崎の突堤
124 プラサヴェルデ屋上庭園
126 蛇松緑道・白銀歩道橋
128 気多神社の階段
130 びゅうおのトリックアート
132 Special edition 東京ドーム
134 狩野川花火大会
135 描き下ろし

Find Our NUMAZU
Landscape with Aqours

家に着くまで待ちきれないから
下校途中の秘密のご褒美



Spot No.01　内浦 三津漁協前バス停

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.01

内浦 三津漁協前バス停



ここは東海バスの〝三津〟、伊豆箱根バスの〝三津郵便局〟バス停の待合所のような場所です。放課後や休みの日などに松月さんやコンビニに寄ってから、ここで沼津に行くバスを待っていたりするのかな……と想像しながら写真を撮りました。

奥に貼ってある少し古い案内図をよく見ると、郵便局やコンビニの場所が今と少し違っていたりして歴史を感じることができます。

千歌ちゃんたちが小さかった頃は、今とはまた違った景色があったのかも……と想像が膨らみます。



Spot No.02

駿河湾と淡島

沼津駅方面から内浦に向かう海沿いの県道17号線、口野放水路の交差点から三の浦郵便局を越えると、急に視界が開けて駿河湾と淡島の景色が広がるポイントです。

この日は天の川と月の位置がちょうど重なっていて、天の川を見るのは難しいかと思いましたが、月が落ちてきてちょうど淡島に隠れたことで、無事に見ることができました。

天体観測が好きな果南さんが、波の音を聞きながら月と星と淡島の景色を眺めているような情景を想像しながら撮影していました。



Spot No.02　駿河湾と淡島


1つ1つは小さな灯りも
集まれば　ほら
こんなにも温かい

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.03



キャンドルナイト in 三津浜

毎年クリスマスの時期の恒例になっているキャンドルナイトin 三津浜は、2016年から開催されるようになり2019年の開催で4回目となります。このキャンドルは現地で販売されていて、購入した方々がメッセージや好きなイラストを書き込んだりして並べていき「Aqours」の文字を作っていきます。

Aqoursが実際にこの光景を見たら少し照れながら見守っていそう……。そんなことを感じられる心が温かくなる素敵なイベントです。



Spot No.04

狩野川健康マラソン

12月22日に開催された狩野川健康マラソンのポスターで使用したイラストと写真です。

撮影するにあたって実際のコースを少し歩いてみましたが、川のせせらぎを聞き、富士山は白く、香貫山は赤や黄色に染まっているのを見たりして沼津の季節を少し感じる事ができました。

このマラソンは沼津市民が楽しく走る健康マラソンとのことで、果南ちゃんあたりが「みんなで出ようよ！」と言いだして、なんやかんやで全員参加することになって、気づいたら果南ちゃん曜ちゃん善子ちゃんの3人が張り合いだしてしまって……。もしAqoursが実際に参加していたらそんな展開になりそうです。

写真の場所も実際のマラソンコースなので、マラソンに参加したら後ろからにぎやかな声が聞こえてきて、ふと振り返ったらAqours9人がわちゃわちゃ走っていた……という感じが出せたらいいな、と思ってこの場所にしました。



Spot No.04　狩野川健康マラソン

走って 走って
今日はどんな
楽しい一日？

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.05



御成橋

沼津市街地の狩野川に架かる御成橋は、沼津市のシンボルとしても親しまれています。TVアニメでは御成橋の脇に建っているマンションに善子ちゃんが住んでいて、そのすぐ近くの上土朝日稲荷神社では梨子ちゃんが犬を拾うシーンもありました。この御成橋の魅力は、なんといっても夜になってからの青くライトアップされた弓なりのアーチだと思います。近くのリバーサイドホテルの町並みの夜景と御成橋の青いアーチが川面に反射している景色はいつ見ても美しいです。また近くで見ると鉄骨の錆や太平洋戦争の空襲を受けた痕があったりと歴史が感じられます。川沿いの階段は「かのがわ風のテラス」といって音楽イベントや沼津の魅力を発信するイベントを行ったり、夏祭りの花火大会の会場にもなっていて沼津の憩いの場になっています。御成橋の先にかすかに見える「びゅうお」と伊豆半島の山々、狩野川から時々飛び跳ねる魚の音、遠くに聞こえるトンビの鳴き声、そんな情景を感じていると自然と心が落ち着いてきます。そんな御成橋に似合うのは、まるでいまからこの先にある市民文化センターでライブでもするようなワクワクした表情で駆け抜けていくヨハネちゃんだと思います。



Spot No.06

気多神社

三津の海岸沿いの通りからひとすじ山側を通る旧道沿いにある気多神社（きたじんじゃ）は、表通りから少し入ったところにあり、静かな境内に風の音が響くのがとても落ち着く雰囲気です。初詣なら淡島神社も捨てがたいですが着物で山登りになってしまうので（笑）実際に初詣に行くなら近所の気多神社かなぁ……と想像して今回はここにしました。冬の寒さで澄み渡る境内、白い息に太陽の光があたって少しだけ暖かさ感じる元日。和装のダイヤさんが待ち合わせの５分前にきっちり到着してみんなを待っていて、毎年一番最初に来る鞠莉さんがダイヤさんを見つけて真っ先にHappy Birthdayって言うんです。



Spot No.06　気多神社

うららかな日差し
磯の香り
時を忘れた春の一ページ



Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.07



長井崎

長井崎中学校バス停を少し先に行った海沿いの道路です。

三津から三津シーパラダイスの裏道を通って長浜～重須と海沿いをのんびり歩いて長井崎をぐるっと回り、長井崎トンネルを通ってまた三津へ戻るのが私の内浦散歩の定番ルートです。遠くに見える富士山と、歩いている場所によって淡島の表情が変わって見えるのでとても癒やされます。

春の短縮授業で部活も図書委員も無い……そんな早めに学校が終わった日に花丸ちゃんはバス停の少し先の堤防に腰掛けて本を開きます。ですがつい本に集中してしまって時間を気にするのを忘れてしまいます。春風のなかを遊覧船に寄り添って飛ぶカモメの鳴き声でふと顔を上げると、向かい側の岬をみかん色のバスが走って来るのが見えてきます。それが栞を挟むちょうどいい時間……。



Spot No.08

光明寺

光明寺は重須（おもす）という地区の、JAなんすんOH！MOS（オーモス）の少し裏手にあるお寺です。桜が咲く季節になると駐車場に一本だけある桜が花を咲かせます。歴史を感じられるお寺と素朴な桜がとても良い雰囲気です。重須には古い家屋や蔵などがまだ残っていて街を歩いているとタイムスリップしたような感覚を味わえます。

そんな古い街を歩くのは都会から引っ越してきた梨子ちゃんです。引っ越しの後片付けや転入の手続きなどでバタバタしてしまってゆっくり見る時間がなかった桜。やっと落ち着いてきた頃には少し葉がついた桜を見ながらおしゃべり。実はスクールアイドルっていうのがあって、梨子ちゃんも一緒に……なんて、もしかしたらそんな会話もあったのかもしれません。



Spot No.08　光明寺

音符は星
楽譜は銀河
きらきら光る
心照らすメロディー



Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.09

音楽教室の五線譜の壁



ここは千本浜公園に程近い音楽教室の外壁です。もしかしたらバスの中から見たことがある方もいるかも知れません。

千本浜から沼津駅方向へ、観音川の小さい橋を渡って、角にある湧き水の音に癒やされて、蛇松緑道を越えて永代橋へ……そんな散歩コースにあるちょっとオシャレな五線譜の壁。

千本浜で波の音を聞きながら新しい曲のイメージ作りと気分転換も兼ねた散歩の途中、少し市街地に入ったところでこの五線譜を見つけて少しだけアイデアが湧いてくる……そんな情景が思い浮かんできます。



Spot No.10

沼津こいのぼりフェスティバル

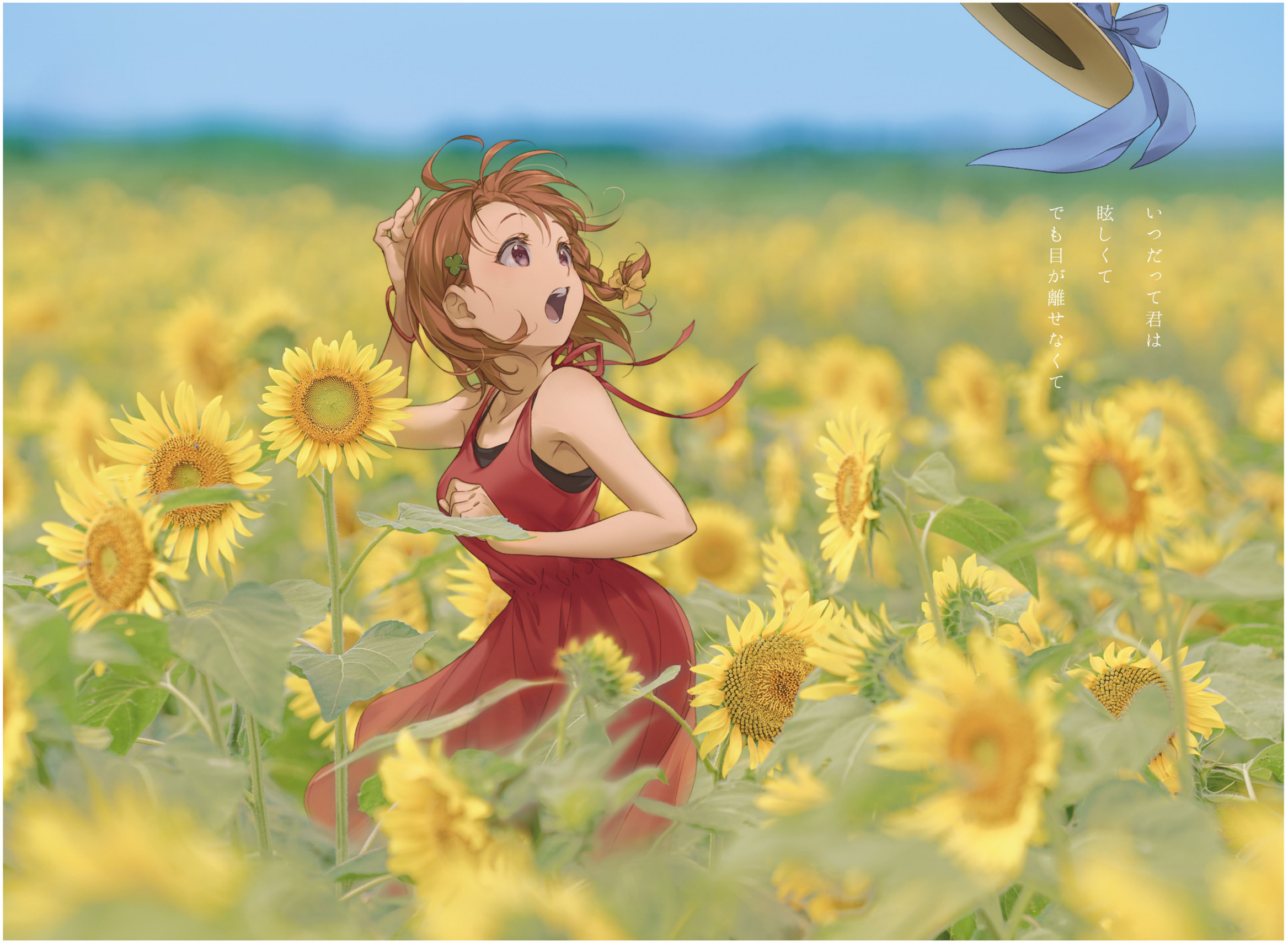
こちらは毎年、狩野川緑地で行われている沼津こいのぼりフェスティバルでの１枚です。

こいのぼりフェスティバルは1985年から続いているイベントで、毎年４月下旬から５月５日まで掲揚されていて、この時期の風物詩となっています。こいのぼりは市民からの使用されなくなった寄贈品であったり、あまり近くで見る機会が少ないこいのぼりを手の届くような距離で見ることができたりと、こいのぼりをより身近に感じることができるイベントです。

この写真のこいのぼりも近隣の幼稚園・保育園の園児たちが手作りしたもので、他のものよりも低い位置に掲揚されています。この３人も、小さい頃に作ったなぁ……なんて話しながらこいのぼりをながめていそうな気がします。



Spot No.10　沼津こいのぼりフェスティバル


いつだって君は
眩しくて
でも目が離せなくて

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.11

浮島ひまわりらんど



ここは浮島地区にある浮島ひまわりらんどというところで、沼津駅からおよそ10kmほど西にあります。このひまわり畑はもともと耕作放棄地で、地元の方々が丁寧に育てたひまわりを植えて美しい景色と環境保全を考えるシンボルにしたそうです。また2月頃はひまわりではなく菜の花を植えています。

太陽のように咲くひまわりに似合うのはやはり千歌ちゃんでしょう。ワンピースを着た麦わら帽子の女の子がひまわり畑に立っている……。そんな夏休みの白昼夢のような景色を見ているだけで歌詞のイメージが湧いてきそうです。いつもより少し大きい富士山に向かって咲くひまわりを見ながら、千歌ちゃんも歌詞を考えたりしているのでしょうか。



Spot No.12

長浜バス停と虹

ここは内浦長浜のバス停で、〝内浦の景色〟と言うとここから見える淡島越しに富士山がある景色を思い描く人も多いのではないのでしょうか。

そんな長浜の雨上がりの朝、運が良ければ長井崎から淡島へ向けて内浦湾にそのまま橋を架けたような虹を見ることができます。この日はちょうど長井崎を囲うような形の虹を見ることができました。地元の方も釣りをしている方もみんな足を止めて写真を撮っていたりして、少しずつ薄くなっていく虹を眺めていたのがとても印象的でした。

バスがトンネルを抜けた時に虹を見つけた曜ちゃんが勢いで停車ボタンを押してしまって、一緒に乗っていた梨子ちゃんも仕方なく一緒に降りて……。梨子ちゃんも、嬉しそうな曜ちゃんの顔と雨上がりの虹を見て学校に間に合うかどうかも忘れてしまう。そんな朝があるのかもしれません。



Spot No.12　長浜バス停と虹


仲良くなるまで
あとちょっと

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.13

三津の猫



ここは三津の内浦漁協の近くの路地です。

港町といえば猫というイメージがあるのですが、この街にもやはり猫がたくさんいます。個人的にも沼津は特に猫が多い街だと感じます。少し歩くだけでも何匹か見かけることができますので、猫の姿を求めて散歩してみるのも楽しいです。

この町で育ったAqoursのメンバーも顔なじみの猫や推しの猫がきっといるのではないのでしょうか。いつも同じところで寝ている子、天日干し中の干物を狙う子、人懐っこく体を擦り寄せてくる子、学校に行く途中に目が合う子。

一匹の猫にこっそりと近づく果南ちゃん。今日こそは触らせてもらえるのでしょうか。



Spot No.14

あゆみ橋と満月

ここは中央公園から狩野川対岸の香貫公園をつなぐあゆみ橋で、秋の行事の十五夜をイメージして撮った一枚です。

夜のあゆみ橋は足元がライトアップされてシンメトリーにまっすぐ香貫公園の方へつながっている姿が綺麗で、ここから見る青くライトアップされた御成橋の景色も沼津のランドマークと言える好きな景色の一つです。

季節も変わり過ごしやすくなった夜に、丸い月を見上げているのはダイヤさんですね。お家のお使いかなにかで市街地に来たのでしょうか？

すぐバスに乗って帰ってしまうのがもったいないような満月で、そういえば十五夜だったことをふと思い出しながら少しお散歩をするダイヤさん。Aqoursのみんなといると忙しくて、少しだけゆっくりと流れる時間を楽しむ……そんな秋の夜長のダイヤさんが目に浮かんできそうです。

みなさんも時間があれば十五夜は空を見上げて月を眺めてみてはいかがでしょうか。もしかしたらAqoursのみんなもどこかで同じ月を見てるのかもしれません。



Spot No.14　あゆみ橋と満月



Spot No.15　長井崎バス停前の海

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.15

長井崎バス停前の海



ここは長井崎バス停の前の浜辺です。三津浜の景色も好きですが個人的にはこの浜辺も静かで目の前に淡島があって大好きな海の景色の一つです。浜辺が現れるのが潮が引いた時だけというのも面白いです。沼津の海は本当に綺麗でこの写真を撮った日は特に透明度が高く透き通っていたのが印象的でした。行ったことがある方はわかると思うのですが、道路から海面までは結構な高さがありますので、とてもではないですが胸壁に腰掛けてそのまま下の浜に飛び降りるというのは鍛錬されたスクールアイドルにしかできないです（笑）。Aqoursが海で遊ぶとしたら三津浜というイメージもあると思うのですが、混雑する海水浴場で地元の人が遊ぶというのもなかなか想像できなくて、お客さんが多いからじゃああっちに行ってみようか、というような感じで対岸に見える岬を指差して自転車で海沿いの道を走って行く……。そんな日常があったりするのかな？　と思います。こんなに澄んだ海を目の前にすると曜ちゃんのように少しだけ入ってしまいたくなります。



Spot No.16

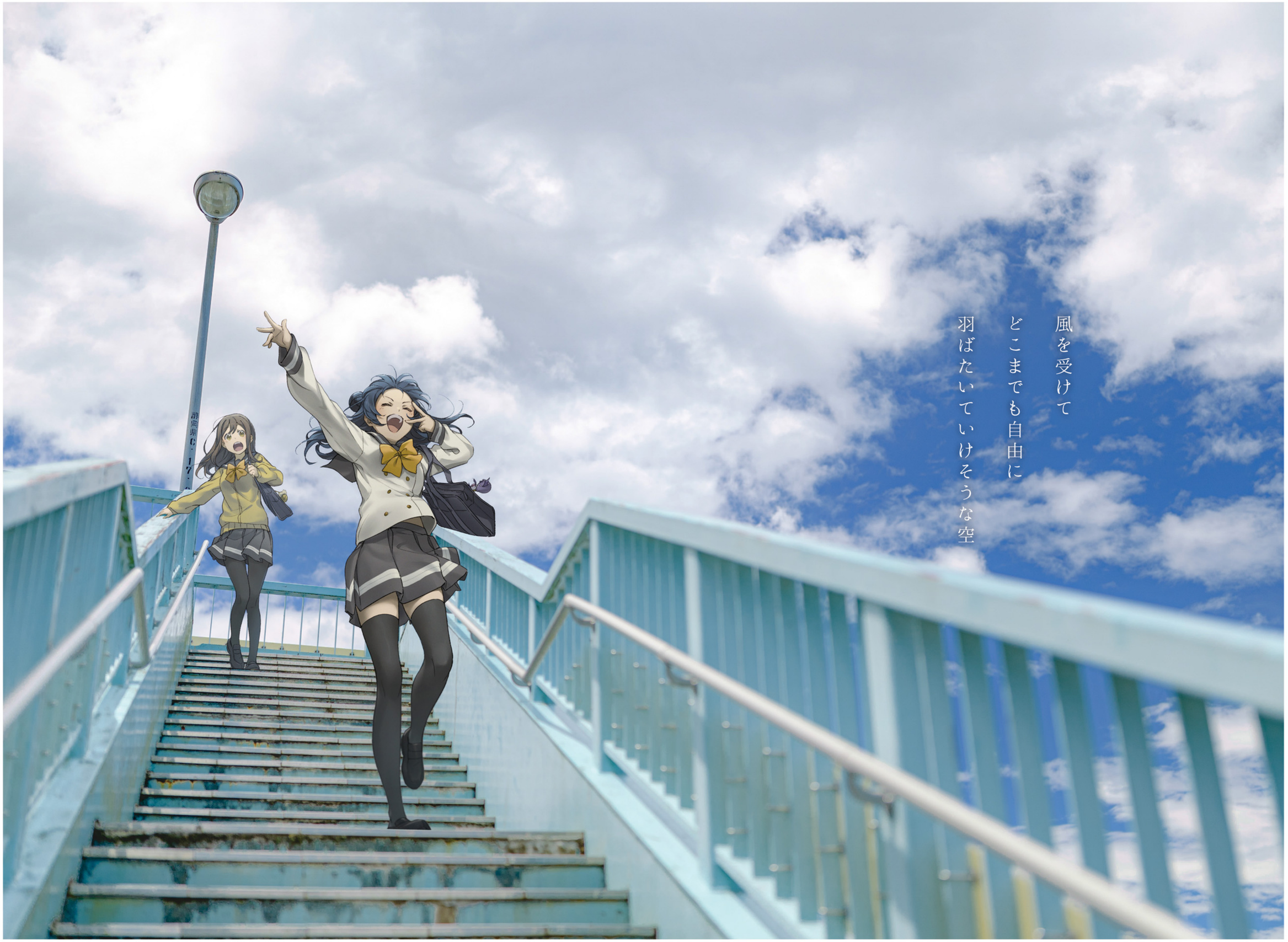
三津三差路

ここは「三津三差路」という交差点で伊豆長岡方面から三津坂トンネルを抜けて坂を下っていき海沿いの道に交差するところにあるＴ字路です。Aqoursの2ndシングル『恋になりたいAQUARIUM』のMV冒頭で曜ちゃんが自転車で走っているシーンでも有名ですね。私はこの三差路の景色が大好きで、三津坂方面から見たときの海のギリギリに立つ信号や大瀬崎と沼津市街への左右を示す青看板、港と海の奥に見える長井崎の岬、それらを見ると「内浦に来たぞー！」といつも感じています。この景色を何回か見たことがある人ならきっと共感していただけるはずです（笑）。さて沼津というと方角的にやはり夕日が映える街だと思います。この内浦から見る夕日もやはり美しく、遠くの海へ沈む夕日が空と街をみかん色に染める景色はいつも空の表情が違っていて、いつ見ても飽きることがありません。季節と見る場所によって太陽がどこに沈むかが変わるので自分のお気に入りのスポットを探してみるのも楽しいです。沈む夕日を見ながらおしゃべりしている２人はいったいどんな会話をしているのでしょうか。ちょっと気になります（笑）。

いつか懐かしくなる
いつもの帰り道



Spot No.16　三津三差路



風を受けて
どこまでも自由に
羽ばたいていけそうな空

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.17



西浦の歩道橋

ここは内浦から更に西に４kmほどの西浦地区にある歩道橋です。海沿いの県道17号線に架かる数少ない歩道橋でもあります。この歩道橋は海沿いの高台にある小学校へ続いていて見晴らしがよく、天気がいい日だと透き通った海の向こう側に大きな富士山を望むことができます。西浦の海は特に澄んでいて、すぐ近くにある〝らららサンビーチ〟は水質が良好な海水浴場として環境省からも認定されているほど美しい浜辺で、いつも賑わっています。さて、そんな西浦に訪れたのは花丸ちゃんと善子ちゃんです。この場所は内浦のお隣りの地域の小学校に近いので、学校行事のお手伝いだったり、もしかしたら花丸ちゃんが聖歌隊として小学生たちに合唱を教えていたのかもしれません。そして花丸ちゃんに歌声を少し褒められた善子ちゃんの足取りが軽くなる……そんな情景が浮かんできます。



Spot No.18

雨上がりのバス停

ここはおなじみの学校前のバス停ですね。ここへ訪れると誰かしらがすでにいることがほとんどで、誰もいないバス停の景色を見ることができる機会はなかなかないのではないでしょうか。この写真は雨上がりの朝に撮影したのですが、天気があまり良くなくてもいつもとは少し違う表情の景色を探してみるのも面白いです。特に雨上がりは虹がかかったり、水滴のキラキラや水たまりに映る世界などそのときにしか見られない景色があって好きです。そんな雨上がりのバス停にいるのは鞠莉ちゃんですね。波の音が響く学校前のバス停で内浦の方向を見つめている鞠莉ちゃん。待っているのはバスに乗ってくる誰か？？？　いろいろ考えていくとどんどん想像が膨らんでしまいます。



Spot No.18　雨上がりのバス停

あれも これも
みんなの想いを
歌に乗せて

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.19



INN THE PARK

ここは沼津駅から北へおよそ7kmほどへ行った愛鷹山の麓にある“INN THE PARK”という宿泊施設です。INN THE PARKは愛鷹広域公園内にあり、以前までは沼津市立少年自然の家という林間学校などで利用されていた施設でしたが2017年にリノベーションして、泊まれる公園というコンセプトの宿泊施設へ生まれ変わりました。宿泊者の食事やくつろげるフリースペースのサロンにある机や椅子などをよく見てみると、昔の学校で見かける懐かしいものであったり、渡り廊下には下駄箱がそのまま残っていたりして、レトロモダンでお洒落な雰囲気が人気の施設です。またドーム型のテントもユニークな形で、いつも予約で埋まっているそうです。ここではAqoursのみんなが実際に合宿に来ているようなイメージでいろいろ撮影していました。ここが以前は林間学校に利用されていた施設ということで千歌ちゃんたちも小さい頃に利用したことがあったりして、東京から来た梨子ちゃんにその時の思い出とか話したりするんじゃないかなぁ……と想像していました。実際にINN THE PARKを利用してみると、本当にここで合宿とかしていたのでは……と感じられますので、機会があればぜひ泊まってみてください。

※写真の場所は宿泊者以外は立ち入りできません。



Spot No.20

沼津港大型展望水門 びゅうお

ここは沼津の最も有名なランドマークのひとつでもあるびゅうおです。沼津を訪れたことがある方は一度は登ってみたことがあるのではないでしょうか。こちらの一枚は沼津港エリア共通入場券と『ラブライブ！サンシャイン!!』がコラボするということで、沼津の観光スポットをAqoursが紹介しているような場面を想像して撮影していました。共通入場券はこのびゅうおや沼津御用邸、芹沢光治良記念館などの全部で6つの場所の入場券や無料券として使える数量限定販売のお得なもので、対象施設をまわってアンケートに答えると抽選で素敵なプレゼントももらえるそうです。びゅうおは地震発生時の津波を防ぐための水門と避難施設として建設されましたが、通常時は展望施設になっています。高さおよそ30mにある展望回廊からは沼津の景色を360度楽しむことができ、夕暮れ時には展望回廊から素晴らしい夕日も眺めることができます。そして夜にはライトアップされたかっこいいびゅうおの姿を見ることができます。沼津港で美味しい魚介類を食べたあとはぜひ、びゅうおへお散歩してみてください。



Spot No.20　沼津港大型展望水門 びゅうお



夕日が見守る
2人の成長

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.21



学校への坂

ここはアニメなどでもおなじみの学校への坂ですね。ここを訪れたことのある方も多いと思います。そして初めてこの坂を登った方はきっと思うのが、意外と坂が急で長い……ではないでしょうか（笑）。アニメ版でも体力づくりのワンシーンで使われたこの坂を走るのはルビィちゃんと花丸ちゃんですね。少し傾いた太陽に照らされてランニングするのはとても気持ちが良さそうです。時期にもよりますがこのあたりは方角的に陽の光が届いている時間が短くて、坂を登りきった学校周辺や岬を回り込んだ先側は良いのですが、バス停のあたりはすぐに日陰になってしまうのでなかなか夕日で良いシーンには巡り会えなかった記憶があります。個人的には岬の先から見る夕日が結構好きで、木負の消波堤と灯台、釣りをしている人が逆光で照らされてシルエットになって見えるのがとても綺麗でお気に入りの夕日の景色の１つです。



Spot No.22

長浜の海岸線

ここは観光案内所のある長浜のバス停のところで、こちらもおなじみの場所かと思います。「君のこころは輝いてるかい？」のPVでも登場していますが、三津からトンネルを抜けて緩やかなカーブを過ぎた途端に視界が開けて海の真横を通る真っ直ぐな海岸線、右側に見える淡島と富士山の重なりはいつ見ても綺麗です。内浦は朝日が山から登って来るので、朝日を迎えると海に見える淡島の頂上から下へゆっくりと太陽に照らされていって徐々に暖かくなっていくのが感じられます。また厳冬期の早朝には「しおくずばんば」と呼ばれる海水面から霧が出る気象現象が見られ、その霧に朝日が当たるととても幻想的な景色になります。さて、こちらは朝の長浜のおちゃめな景色ですね（笑）。果南ちゃんの背後からのハグを許してしまった千歌ちゃん、２人はどんな会話をして学校まで歩くのでしょうか。

清浄な朝
今年最初の
おはよう



Spot No.22　長浜の海岸線


ぴんと伸ばして
くるくる回って
ただいま
空を飛ぶ練習中

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.23



富士見広場

ここは内浦長浜にある富士見広場です。三の浦総合案内所の隣にある公園ですね。最近では三の浦総合案内所に来る方への駐車スペースとして大部分が開放されていますが、それでも子どもたちが遊具で遊んでいたり、ご年配の方々がゲートボールをしていたりと憩いの場となっているのが感じられます。内浦周辺は海や畑はあっても子どもが走り回れるような広場があまり多く無いように思いますので、このような広場は貴重なのではないでしょうか。さて今回はAqoursの幼少期に思いを馳せて、もしかしたらここで遊んでいたのかも……というようなイメージで撮影しています。鉄棒で遊んでいるのは千歌ちゃんと曜ちゃんの幼馴染コンビですね。特技が鉄棒の千歌ちゃんには体育会系の曜ちゃんでも流石に敵わないのでしょうか（笑）。



Spot No.24

通学路

ここは長井崎へ続く海沿いの道です。長井崎を訪れた方なら見覚えがあるかもしれません。学校へ向かう道なので登校中のワンシーンをイメージしていますね。バス通学の学生さんももちろんいると思いますが、歩いて登校する学生さんも意外と目にして驚きます。私もよく歩く道なのですが、波の音を聞きながら歩いていると淡島が徐々に近づいて大きくなっていったり、遠くの富士山が正面に見えたりしてきて、いつ来ても癒やされます。そんな通学路を歩いているのは千歌ちゃんと梨子ちゃん、そして後ろからその姿を見つけた鞠莉ちゃんですね。海沿いの曲がりくねった道の先に２人の姿が見えてつい駆け出してしまう……そんな朝のワンシーンを想像してしまいます。



Spot No.24　通学路

今日あったこと
これからあること
語らって弾む笑い声
いつもどおりが
そこにあった

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.25

三津橋



三津交差点のほど近くにある三津橋という小さな橋です。三津交差点からすぐのところにある小さな河口へ架かる県道の橋で、いけすやさんや淡島へ向かう時に通りますね。

夕暮れ前の午後のひと時、淡島から帰る途中というような５人ですね。ここの近くにはTVアニメや劇場版でも登場した小さい商店もあって、ちょっと小腹が空いて買い物しちゃったりして……。でもそんな何気ないいつもの帰り道も時が経つとなんか良い思い出になったりしますよね。そんなことを考えながら撮っていました。



Spot No.26

函館 八幡坂

ここは函館の八幡坂というところで、坂をくだって海にぶつかったところから見た光景ですね。TVアニメ内では「Awaken the power」を披露したところでもあります。この坂の上には理亞ちゃんたちが通う学校と鹿角家のモデルとなった甘味処があって、初めて函館を訪れた時に学校と鹿角家の近さには驚きました(笑)。

この日はほとんど晴れていたのですが、急に雪が降ってきたと思ったらすぐに止んだりと天候がコロコロ変わった1日でした。ベイエリアへちょっとお買い物に行く理亞ちゃんのもとにも冬本番を知らせる雪が降ったのではないでしょうか。



Spot No.26　函館 八幡坂

ちょっとひと息
素顔のひと時

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.27

函館 元町公園



ここは函館の元町公園というところです。元町公園は函館の港を一望できる公園というだけでなく、「はこだて」と呼ばれる由来になったのがこの場所で、函館の歴史上の中心地とも言える場所だそうです。元町エリアには教会や洋風建築の歴史的な建造物が多くあり、港を見下ろすことのできる高低差のある街並みと相まって散策するのが楽しい街並みです。

元町公園は鹿角姉妹の実家とされる茶房菊泉さんからもほど近くにあり、劇場版では「Believe again」を披露したところでもあります。少しずつ暖かくなってきた春の函館、近所のカフェのお気にいりのホットレモンを飲みつつひと休みして公園を眺める……聖良さんにもきっとそんな日常があるのではないかと想像してしまいます。



Spot No.28

三津天満宮

ここは三津天満宮というところで、先月とりあげた三津橋のほど近くにあるお寺の脇を上がっていったところにあります。落ち着いた境内からは広い視界ではないものの内浦の街並みを見ることができ、梅や桜の時期には綺麗な花を見ることができます。個人的にはこういった地域に馴染んだ神社が好きで、鳥居をくぐったらすぐに少し急な石段がある、といった風景を見るとどうしても足が向いてしまいます（笑）。

さて、私が沼津へ訪れるようになってから毎回必ず考えることがあって、それは「夕日をどこから見るか？」ということです。やはり沼津の夕暮れの景色は本当に美しくて様々な場所から夕陽を見てみたくなります。もしかしたらこの3人も同じように、綺麗な夕陽をただなんとなく少し高いところで、いつもと違う場所から一緒に見たかった……というだけなのかもしれません。



Spot No.28　三津天満宮

まだ追いつけない
けど、足は止めない
昨日より今日より
少しずつでも前へ

Spot No.29　富士見広場ベンチ

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.29



富士見広場ベンチ

ここは内浦長浜の富士見広場で、ゲートボール場になっているところです。三の浦総合案内所へ訪れたことがある方は、ここでご近所の方々が元気にゲートボールをされているのを見たことがあるかもしれません。

休憩しているのは果南ちゃん花丸ちゃんルビィちゃんの３人ですね。富士見広場は三津と学校の間にあるのでランニングで、どこかで折り返して途中の富士見広場で休憩する……というようなシチュエーションが想像できます。結構長めのコースを少しだけゆっくり走る果南ちゃんにどうにかついていく２人……。でも沼津のきれいな海沿いの景色を見ながらだったら、きっと気持ちよく走れそうですよね。内浦を歩いているとそんなAqoursのメンバーと偶然すれちがうことがあるんじゃないかといつも思っています。



Spot No.30

びゅうお展望回廊

沼津港にあるびゅうおの展望回廊ですね。

展望回廊は水門の高さ30mにあって、水門の柱を一周するそれぞれの回廊を繋ぐような形になっていて、千本浜のアーチ状の砂浜や富士山、沼津アルプスの山々、沼津の町並みと港の風景、淡島から大瀬崎まで360度景色を楽しむことができます。

さて、そんなびゅうおを訪れたのは曜ちゃんと善子ちゃんです。駅のあたりで待ち合わせて、あゆみ橋から我入道の渡し船で沼津港へ。甘いものなんかを食べたあとはびゅうおで景色を眺める。きっとこの2人と一緒に行ったら、その後はなんだかんだで海へ連れて行かれるのでしょうね（笑）。



Spot No.30　びゅうお展望回廊

バスが一緒になったとか
学校に着く前に会えたとか
小さな嬉しいのひとつひとつが
今日を楽しく彩る

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.31



バス停の階段

ここは長井崎のバス停から学校へ向かう階段のところですね。春の長井崎はバス停の坂が桜色に染まってとても華やかになります。この坂の桜の景色を見るのが楽しみな方も多いのではないのでしょうか。先日公開されたAqours CLUB CD SET 2021の「DREAMY COLOR」のPVでもここの桜のシーンがありましたね。ここは海沿いの道路や桜並木の坂、波の音、海と空の青色、木々の緑、すべてが合わさって本当に素敵な場所だといつも思っています。近くで見るのも良いのですが湾の向こう側や遊覧船上から見てみると、緑の木々の中に桜色の帯が斜めにできていて個人的には好きだったりします。そんな桜の下の階段を登っているのは梨子ちゃんと善子ちゃんですね。坂まで歩いてきたら呼ばれた声がして、振り返るとバス停から階段を登ってきた2人と目が合って挨拶する……そういう春の1日の始まりもあったんじゃないかなぁと想像が膨らみます。



Spot No.32

みかん畑から見える景色

内浦がある三浦地区は海のすぐ側に山が切り立っている起伏のある地形で、海岸沿いを歩いていると湾の向こう側の山の斜面にみかん畑が高くまで広がっている景色を見ることができます。そんな遠くに見えるみかん畑から見下ろす内浦の景色もとても綺麗で、特に発端丈山にある見晴台からの眺望はアニメやPVにも使われたこともあり有名ですね。いつも内浦を散策している時は、ここに住む千歌ちゃんたちには、なにげないけれどお気にいりの景色がきっとあるんじゃないかなぁ……と考えながら歩いています。幼い頃に自転車で遠くに見えるところまで冒険した時とかに眺めがいいところを発見したりして、高校生くらいになって同じところに行ってみると意外と近くて驚いたり……みなさんそんな思い出があるのではないのでしょうか。でもそういったところほどお気にいりの場所になるんですよね。きっとここもそんな場所の1つなのではないかなぁ……と思います。



Spot No.32　みかん畑から見える景色


みんなが来る前に
ちょっとだけ

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.33



狩野川のベンチ

ここは沼津市街地を流れる狩野川の川辺にある、かのがわ風のテラスです。沼津を訪れた方の全員がやると言っても過言ではない「狩野川でぼーっとする」というやつですね（笑）。近くのパン屋さんでパンを買ってコーヒーを飲みながら、まったりと少し遅めの朝ごはんを食べるのが私のお気にいりです。予定を決めていない日はよくここで川を眺めながら今日はどこへ行こうか？　と考えていたりします。犬の散歩やウォーキングしている人、川のせせらぎ、御成橋を走る車の流れを見ながらのんびりと過ごすのが心地よい素敵なところです。さて、そんな休日の狩野川でパンを頬張ろうとしているのは花丸ちゃんですね。今日はこのあと誰かと待ち合わせ？　それとも予定も無くこのまま読書とかするのでしょうか？　そんなこんなで偶然通りがかったメンバーと遭遇したりして気づいたらみんな集まっていたりする。そんなことが結構な頻度で起こるのが沼津あるあるだったりします（笑）。



Spot No.34

長井崎電話ボックス

ぱっと見ただけではわかりにくいかもしれませんが、ここは長井崎のバス停です。バス停の脇にある電話ボックスに映った景色を撮影しています。沼津を訪れるようになってから、ガラスや水たまりに映る景色を見ると、その内側の世界にはもしかしたら千歌ちゃんたちが映り込んでいるんじゃないか……と想像が膨らんで、つい近づいたり屈んでみてしまいます（笑）。1つ先の角を曲がったらAqoursの誰かとすれ違ったり……そんな予感を感じられる沼津の空気感がとても好きです。仲の良い友達とおしゃべりしながら一緒に帰るのって本当に楽しいですよね。バスや電車を待つ時間もあっという間に過ぎてしまって、話も何故か盛り上がってしまって何本か乗るはずのバスとかを見送ったりしてしまったり。明日また会えるのに最後には少しだけ寂しくなったり……。2人にもそんなことがあったりするのでしょうか。



Spot No.34　長井崎電話ボックス

花言葉は神秘的で知的

移り気な青に魅せられた

堕天使との邂逅

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.35

沼津御用邸の紫陽花



内浦から沼津の市街地へ向かう途中にある東郷海岸のすぐそばに、沼津御用邸記念公園があります。園内外には多種の紫陽花が群生していて御用邸の紫陽花は梅雨の風物詩なのだそうです。御用邸の入り口のところに紫陽花が咲いていることは以前から知っていたのですが、初めて梅雨の時期に園内に入ってみると、園内はより多くの紫陽花が咲いていて珍しい種類の紫陽花もあって、ガイドの方がとても丁寧に説明してくださいます。沼津御用邸は派手さはありませんが、季節の花々が楽しめ四季を感じられるので結構好きなスポットでもあります。梅雨空の下に咲く色鮮やかな紫陽花をAqoursのみんなもきっと楽しんでいたりするんだろうな……なんて考えながら紫陽花を眺めていました。



Spot No.36

照江寺

私が沼津を訪れるようになってある程度時間は経っていると思うのですが、それでもまだまだ知らない場所があると実感したところの１つが照江寺です。内浦から少し沼津市街地へ向かった静浦の江浦地区にある照江寺は、紫陽花の名所でもあります。高台の斜面にある境内には多くの紫陽花が植えられていて、梅雨の時期には色とりどりの花を咲かせます。また高台から目の前に広がる江浦湾を一望することもでき、今まで何度も目の前を通り過ぎていたところにこんな素敵な場所があったのが驚きでした。傘に当たる雨の音を聞きながらカラフルな色の紫陽花を眺めるていると、雨が多いこの季節でも少し前向きになる気がします。そして日本の花である紫陽花と落ち着いた雰囲気のダイヤさんはとても似合いますね。ダイヤさんはひとりで？　それとも誰かと一緒に？　そんな想像を膨らませてみるのも面白いですよね。



Spot No.36　照江寺

暗く伸びるトンネルだって
星たちの光と
つないだ手のひらが
前に進む力をくれる。

Spot No.37　Blue Cave（淡島遊歩トンネル）

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.37

Blue Cave（淡島遊歩トンネル）



ここは淡島にあるBlue Caveというトンネルです。淡島の周りを一周する遊歩道の北側にあって、中に入ると海中をイメージさせるような青いイルミネーションと夏でもひんやりとしているのもあって、涼しげな気持ちになります。イルミネーションにはイルカやペンギンの他に、淡島らしくカエルもあったりします。このBlue CaveはTVアニメでも登場していて３年生それぞれが将来のことを打ち明けたり、小さい頃の思い出を話している場所でもあります。３年生の３人はここを通って、鞠莉ちゃんに会いに行ったり、３人で遊びに行ったりしたんでしょうね。このトンネルにもきっとまだ語られていない３人のエピソードがあるんじゃないかと妄想しています（笑）。そんなBlue Caveにいるのは小さい頃の果南ちゃんとダイヤさんですね。２人がトンネルを通り抜けながらどんなことを話しているのか……ぜひいろいろ想像してみてください。



Spot No.38

内浦長浜からの夕日

ここは内浦長浜の夕暮れ時の様子ですね。ここから見る淡島と富士山の景色はどんな時間帯に見ても綺麗でお気に入りの風景です。この内浦地区は内浦湾の湾曲した地域なので夕暮れ時は場所や方角、季節によって景色の雰囲気が変わるのも面白いです。ここ長浜から見る夕日は、対岸の丘の上にある学校に向かって沈む夕日が淡島と富士山をみかん色に染めるのが見どころで、海と風の音と遠くを走る車の音を聞きながら段々と青く深く変わっていく景色を眺めるのが好きです。そんな長浜にいるのはルビィちゃんですね。毎日のように見る景色でも誰かと一緒に見るととても記憶に残りますよね。彼女たちもきっとそうなんじゃないでしょうか？



Spot No.38　内浦長浜からの夕日



Spot No.39　長浜 地下横断歩道

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.39

長浜 地下横断歩道

三津の三叉路から伊豆・三津シーパラダイスを通り過ぎた先、富士見トンネルを越えたところにあるのがこの地下横断歩道です。都市部ではあまり地下横断歩道は見かけませんが、地方の学校近くの比較的交通量の多いバイパスなどでは見かけることもあり、場所によっては海の下を通っているところなんかもあったりします。富士見トンネルを歩行者が通行するのは少し危ないので、千歌ちゃんたちなら三津シーの脇の道を通って学校に向かうだろうな……と想像して撮影していました。朝の登校っていつも約束して行くのも良いのですが、途中で偶然一緒になって登校するのも楽しいですよね。徒歩通学なら先を歩いている友達に追いついたり、バス通学なら車窓から歩いている友達見つけたり、そんなドラマがあったりするんでしょうね。





Spot No.40

長井崎 ヨットのある通学路

ここは長井崎の海沿いの道で学校への通学路でもあります。歩道のすぐ脇に青いヨットが揚げられているのが特徴的で目を引きます。天気がいい日に長井崎をお散歩するのは気持ちいいですよね。重須側からそのまま巡っても良いのですが、トンネルを抜けた木負側から周るのもいつもと違う景色が見えて面白いです。青い空、波の音、富士山、淡島、向かいの岬の灯台、海を進む船、そんな景色を眺めながら歩いていると本当にリフレッシュできます。途中で木負のカフェでお茶をしたりご飯を食べたりできるのも良いです。毎日通っている通学路でも、お休みの日であったり制服じゃなかったりするだけで、いつもと少し違う景色の見え方がしてきますよね。そんな見慣れているけど飽きのこない沼津の景色のことが、Aqoursのみんなも大好きなんでしょうね。

学校に行くだけの道じゃない
たまにはふらっと
気の向くままに



Spot No.40　長井崎 ヨットのある通学路


夕日の色に染まりながら
楽しい今日を振り返る時間

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.41



戸田 瞽女展望地

ここは戸田にある瞽女(ごぜ)展望地というところです。ここからは戸田の町並みと特徴的な形の御浜崎、さらに駿河湾の対岸にある清水港を眺めることができます。TVアニメの2期第10話「シャイニーを探して」にてAqours9人でお出かけしたルートの途中に位置するビュースポットですね。

瞽女というのは三味線の弾き語りをする盲目の女旅芸人さんのことで、ここには地名の由来となった3人の瞽女にまつわる観音像が建てられています。その観音像にお祈りすると芸事が上達すると言われているそうです。

修善寺方面から戸田へ峠を下っていく眺望はとても綺麗で車やバイク、自転車のツーリングコースとしても人気があります。昼間の景色ももちろん美しいのですが、今回のような空が夕陽のみかん色から徐々に紫色、青色へと変わっていく時間が個人的に好きです。戸田はとても海が美しくて素敵なところですので機会があればぜひ足を伸ばして訪れてみてください。



Spot No.42

三津浜

ここは三津浜の海岸で、『ラブライブ！サンシャイン!!』の物語の中心となる場所の1つですね。皆さんも沼津を訪れた時にまず向かうのはここではないでしょうか。『ラブライブ！サンシャイン!!』の一番最初のキービジュアルから始まって、作中でももちろん幾度となく登場しています。実際の三津浜では地元の方々とキャンドルナイトを開催したり巨大な千歌ちゃんが現れたりもしましたね。

さて、三津浜にいるのは果南ちゃんとルビィちゃんですね。これからみんなで集まったりするんでしょうか。学校以外の内浦でAqours9人がどこかに集まるとしたらどこになるんだろうか……と、ふと考えてみると鞠莉ちゃんや千歌ちゃんのお家では他のお客さんがいるので気を使ってしまいますよね。そうすると自然と三津浜に集まっちゃうのではないでしょうか。

気の合う仲間内で気がついたらみんな集まって来てしまう場所ってありますよね。きっとAqoursにとって三津浜は当たり前にあるけれどやっぱり大事な場所なんだと思います。



学校帰りに
ほっとひと息

Spot No.43　三津のヤシの木

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.43



三津のヤシの木

三津のコンビニの裏にある駐車場ですね。海沿いに植えられているヤシの木が特徴的で、夕暮れ時にはヤシの木のシルエットがみかん色の空に浮かび上がって美しいです。

ここからの眺望は長井崎や駿河湾の向こう側に見える富士市の海岸施設・工業地帯、その奥に見える南アルプスの山々、淡島と富士山といった内浦らしい景色を眺めることができます。内浦散策の途中にコンビニで甘いものを買って、ここで海を見ながらまったりするのが結構好きだったりします。

TVアニメでもここは登場していて、千歌ちゃんと曜ちゃんがダンスの練習をしていたりしましたね。千歌ちゃんや浦の星の生徒たちも学校帰りや部活終わりにコンビニに立ち寄って、ここでまったりと放課後を楽しんでいたりするのではないでしょうか？



Spot No.44

狩野川堤

ここは狩野川の堤防ですね。狩野川沿いの堤防は香貫山のふもとにある香貫大橋のあたりから狩野川河口の我入道の付近まで歩きやすく整備されていて、お散歩やジョギング、サイクリングを楽しむ人が多くいらっしゃいます。以前登場した狩野川健康マラソンもこの狩野川堤ですね。今回はそれよりもより河口に近いところで撮影しています。河口付近からは狩野川と沼津市街地の町並み、奥には富士山が見え、風のない時には狩野川に富士山と町並みが写り込んでとても美しくなります。お散歩コースとしてはあゆみ橋や御成橋あたりからスタートして港大橋で折り返すのがちょうどいい距離でしょうか。まだ元気があるなら我入道浜まで足を伸ばしてみてもいいですし、港大橋で折り返したら沼津港や途中のカフェに寄ったりするのもいいですね。復路は反対岸の川沿いを行くのもいいですが、千本浜を歩いたり、蛇松の線路跡を辿って駅の方まで戻ってみるのも面白いですよ。

お散歩の途中につい美味しいものを食べたり買ってしまうことありますよね。むしろそっちのほうが目的になったりもします（笑）。友達と一緒なら美味しいものを買った帰り道もあっという間に過ぎてしまいそうです。



Spot No.44　狩野川堤

波が呼んだら
駆け出す合図
想いがつながる
温かな海へ



Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.45



らららサンビーチ

ここは西浦のらららサンビーチというところです。

内浦から更に西へ少し行ったところで、ここは日本でも数少ない水質が特に良好な海水浴場の1つに認定されていて、透きとおった海の青と白い砂浜がとても美しいです。また正面に富士山が見えるのも特徴的な海岸で、夏のハイシーズンでは併設の駐車場もすぐにいっぱいになってしまうほどの人気の海水浴場です。

冬の暖かい日なら伊豆の海は膝くらいまで浸かってもむしろ気持ちいいくらいで、夏だったら人でいっぱいになってしまう人気海水浴場もオフシーズンなら貸し切り状態。海辺の街に住むAqoursならきっと、冬ならではの海を楽しむ方法をいろいろ知っていたりするんじゃないでしょうか？



Spot No.46

仲見世ランタンフェスティバル

ここは仲見世商店街のアーケードを東西に交差する沼津仲見世コミナードです。年末から1月中旬頃まで「仲見世ランタンフェスティバル」という約300個のランタンを屋根などに飾る企画を開催していて、今回で4回目だそうです。

このイベントは、台湾などで旧正月に行われている、疫病や天災などを退け人々の幸せを願ってランタンを飛ばす……という風習にならって開催しているそうです。ランタンは地元の子どもたちが絵付けをしていたり、高校生が企画した飾り付けもあります。夜を幻想的に照らすランタンが風にさらさら揺れるのを見ているととても癒やされます。

せっかく新年に合わせて振袖に袖を通したのなら思い出に残しておきたくなりますよね。スクールアイドルの彼女たちも振袖姿の友達と写真を撮り合ったりする……そんな普通の高校生達なんだろうなぁと思います。



Spot No.46　仲見世ランタンフェスティバル

バス待ちタイムの
美味しい誘惑

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.47



上土町バス停

ここは上土町のバス停です。リバーサイドホテルの前にあって、善子ちゃんのお家のモデルになった場所のすぐ近くでもあります。

沼津駅からスタートして、つじ写真館さんやかのがわ風のテラス、御成橋などを散策したあとに内浦方面に向かうなら、ここ上土バス停あたりからバスで向かうのがちょうどいいのではないでしょうか。実際に善子ちゃんも毎朝ここからバスに乗って浦の星まで通っているはずですよね。

こちらの世界線では上土町の名誉町民となった善子ちゃんですが、沼津駅にほど近いここ上土町で、活気ある商店街と温かい人々とともに善子ちゃんはいったいどんな景色を見て育って、今後どんな大人に成長していくのでしょうか。そういった想像をしながら街を見て周るのも醍醐味の１つですよね。



Spot No.48

香貫公園のイルミネーション

沼津市街地の中央公園からあゆみ橋を渡った先、八幡神社に隣接する香貫公園です。

このイルミネーションは2021年11月28日から2022年2月19日まで開催されていた「NUMAZU ILLUMINATION ～Fantastic Night この想いよ、届け～」というイベントのものです。

あゆみ橋を渡る途中から見える香貫公園はイルミネーションでとても明るく照らされていて、いつもと違い少し特別な感じがします。そこまで大きい公園ではありませんが、いつもは何気なく通っていた人たちが笑顔でカメラを向けたりして鑑賞しているのが印象的でした。

沼津市街地でのイルミネーションイベントはここ数年から始まった動きで、きっと千歌ちゃんたちAqoursもこういったイベントは行きたくなるのではないでしょうか。ぜひ今後もこのようなイベントが続いてほしいなと思います。



Spot No.48　香貫公園のイルミネーション

一面の菜の花
髪をなびかせる風
山も君も笑う
みんな春のきざし

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.49



井田の菜の花畑

ここは井田（いた）地区の菜の花畑です。井田は内浦から西へ行った大瀬崎の更に先にあるところで、大瀬崎と戸田のちょうど中間に位置します。

井田は農林水産省による美しい日本の村景観コンテストで受賞もしていることもあり、内浦とも少し違った美しさのある地区だと思います。

この地区でも有名なのが春の訪れを感じさせる菜の花畑です。毎年この時期になると地元の方々によって種をまかれた菜の花が開花して、黄色い絨毯のように広がります。またこの菜の花で花文字が作られていて、近くで見てもわからないのですが、高台にある煌めきの丘からは駿河湾の向こうの富士山とともに「井田」という大きな黄色い花文字を眺める事ができます。

その他、井田ブルーと呼ばれる青く透き通った美しい海は日本で最もきれいな海の１つでもあります。市街地からは少し距離がありますが、とても素敵なところですのでぜひ訪れてみてください。



Spot No.50

あゆみ橋のらせん階段

沼津市街地にある中央公園から狩野川に架かっているのがあゆみ橋です。そこから狩野川階段堤の風のテラスに抜けるのが、このらせん階段ですね。このあたりを訪れた人ならほとんど通ったことがあるのではないでしょうか？　天気のいい日にこのあたりをお散歩するのがとても気持ちいいんですよね。ウォーキングしている人や高校のボート部の練習風景、階段堤に腰掛けておしゃべりしている人など、この地域の日常の空気感を特に感じられる気がします。

舟のりばというのは我入道の渡し船の乗り場のことで、冬季は運行していませんが、あゆみ橋から沼津港や我入道までを往復しています。100円でちょっとしたアトラクションのような気分を味わえて移動もできるのでオススメです。

３年生の３人はこのあとはお買い物？　お散歩？　それともカフェでみんなと待ち合わせなんかしたりするのでしょうか？　ぜひいろいろ想像しながら観てみてください。



Spot No.50　あゆみ橋のらせん階段

目と目が合って
桜が咲(わら)う
春の昼下がり

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.51



三津浜の河津桜

ここは安田屋旅館さんの目の前、三津浜にある河津桜ですね。三津浜には数本の河津桜が植えられていて毎年2月末～3月上旬あたりに見頃になります。河津桜はソメイヨシノと比べて長い期間お花を楽しめるのも特徴で、この河津桜と雪化粧した富士山、そして三津浜を背景にして写真を撮ったことがある人も多いのではないでしょうか。こんな海のすぐ脇の浜辺で咲いているのも珍しいですよね。

年度末のテストや行事の準備などで慌ただしいこの時期に咲く桜を見ていると、今年ももうそんな季節か……と時の流れの早さを実感したり、誰かと一緒に淡い桜色を見た思い出だったりが思い起こされます……。桜を眺めているとそんな時間の流れの遷り変わりみたいなものを感じられるのも魅力の1つだと思います。



Spot No.52

あゆみ橋

ここはあゆみ橋の南側、香貫公園へ続く階段のところですね。あゆみ橋は一般的な橋と違って少し独特な形をしていて、2つの橋構造を複合して構成されています。レトロでシンプルな御成橋とユニークで近代的なフォルムのあゆみ橋が連なって架かっているのも面白いですよね。白い主塔から3方向に伸びている青いケーブルが特徴的でかっこいいのですが、それ以外にも、橋の路面に描かれた模様は橋を下から支える張弦ケーブルと同じ位置にデザインされていたり、夜には両サイドからのライトアップもあり、かなりデザインにこだわった造りをしているのが伺えます。また香貫公園の上をぐるっとひと周りしているスロープも独特です。

中央公園からあゆみ橋を渡ると香貫公園や八幡神社があり、その先は市役所や市民文化センター、香貫山方向へと続いていきます。このあたりには美味しいカフェやスイーツのお店などもあるのでぜひ散策してみてください。



Spot No.52　あゆみ橋

さあ笑おう
セカイはこんなに
広くて大きい！



Spot No.53　長井崎からの富士山

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.53

長井崎からの富士山



ここは長井崎の突堤から見た富士山の景色ですね。この突堤は長井崎の先端から淡島の方へ向かって伸びていて、先端まで行ってみると海の真ん中に立っているような感覚になります。穏やかな天気の日にここの先端に座ってぼーっと波の音を聞くのがお気に入りです。

夏になると天気がいい日は多いのですが空気が霞むので、日中にこれくらいくっきりと富士山全体が見えることは結構珍しいんですよね。

内浦ではいろいろなところから富士山が見えますが、ここ長井崎から見る富士山も特に綺麗です。すぐそばにある淡島と駿河湾の先にそびえる雄大な富士山との対比はいつ見ても圧巻です。

でも富士山に注目しすぎて足元を踏み外したりしないよう、波風が強い日は特に気をつけてくださいね。

Spot No.54



重須マリーナ

ここは重須にあるマリーナの前ですね。長浜の長い直線の海岸沿いを抜け、長浜城址を通り過ぎて緩やかなカーブを曲がって行くと見えてくる、津波タワーの先が重須のマリーナです。係留されているヨットたちの向こう側に弁天島の神社へ続く赤い鳥居が見えるのが特徴です。マリーナは入り江になっているので波はとても穏やかです。

このあたりは早朝に散歩するのがおすすめで、風や水の音、鳥のさえずりに加えて、揺れるヨットの柱にロープが当たって“カンカン”という音が時々聞こえてきます。この音たちの重なりが朝の澄んだ空気感ととても合っていて気持ちがいいんです。

浦の星の生徒たちが下校する頃は、夕日に照らされた山々や煌めく水面、少しずつ伸びていく自分たちの影を踏みながらおしゃべりして帰るのでしょうね。ぜひそんな日常を想像しながらみてくださいね。



Spot No.54　重須マリーナ

恋に近道はないけれど
横道で花咲く恋もある

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.55

伊豆・三津シーパラダイス裏の旧道



三津から長浜方向へ抜ける旧道、伊豆三津シーパラダイスの裏のところですね。富士見トンネルができる前までは今の三津シーのロータリーや立体駐車場のあたりまで山があって、松濤館の前辺りからこの旧道へつながる不二見隧道というトンネルがあったそうです。

学校や長浜方向へ行くときは富士見トンネルを通ることもできますが、トンネル内は狭く暗いので千歌ちゃんたちならきっと旧道を通るのではないでしょうか？

この旧道を何度か歩いてみると、イルカのショーなどの歓声や水しぶきの音まで直ぐそばで聞こえてきたり、毎年初夏にはヤマユリがフェンスの間から顔を出して華を咲かせたり、塀があって海は見えないけれどカーブミラーには三津シーの先の夕日に照らされる淡島や富士山が見えたりすることなど発見があったりします。

曲がりくねった道が多い内浦の道ですが、カーブを曲がった先に不意に千歌ちゃんたちAqoursがいて、すれ違ったりするんじゃないか……内浦に来るといつもそんな気分になります。



Spot No.56

長浜の海岸線

三の浦総合案内所もある長浜の海岸線ですね。海のすぐ脇をまっすぐに伸びる道路と歴史を感じるバス停が特徴的で、等間隔に並んでいるみかん色のカーブミラーと空の青色のコントラストがどこか懐かしさを感じます。

ここ長浜の景色はいつ見ても美しいのですが、個人的にオススメなのは早朝ですね。なかでも極稀に朝焼けが強烈に焼けることがあって、もちろんどこで見ても朝焼けは美しいのですが、このあたりで見る朝焼けは空も海も照らされている街も全部がみかん色に染まって特に美しいです。私は朝が弱いので数えるくらいしか出会ったことはありませんが、朝焼けの景色は今でも心に残っています。それ以外にも朝は特に空気が澄んでいるので富士山がくっきり見えたり、波が穏やかなので海面がツルッとしていたり、雨が降れば虹がかかることもあります。

そんな朝の時間に内浦を散策してみると、静かで穏やかな空気感に満ちていてAqoursの存在を特に感じられるような気がします。みなさんもぜひ朝の内浦を歩いてみてくださいね。



Spot No.56　長浜の海岸線

楽しくなっちゃう
アイディアと
みかんに負けない
元気をお届け！

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.57

みかん直売所前



内浦重須にあるみかん問屋さんのところですね。置かれているみかんのキャラクターの看板が目を引きますよね。このみかん問屋さんは三津から長井崎入り口の交差点を左へ曲がったところにあります。

みかんのキャラクターも特徴的ではあるのですが、こちらの店舗にはかわいい秋田犬の看板犬がいらっしゃってお客さんにもとても人気だそうです。

店頭に並ぶ柑橘系を眺めていると、時期によって種類が変わっていくことで季節の移り変わりを感じることもできます。そしていつも美味しそうで口の中がキュッとなってしまいます（笑）。

そんなみかん屋さんのキャラクターのポーズを真似するのは元気印なCYaRon！の3人ですね。きっとこの時もワチャワチャしながら撮影していたのでしょうね。

千歌ちゃんたちの学校にも家がみかん農家の人もいるでしょうし、顔馴染みのみかん屋さんもあると思います。時にはこんな感じで宣伝を手伝ったりしてるのかもしれませんね。



Spot No.58

城下橋

重須にある長浜城跡のすぐ脇を流れる陰野川に掛かる橋、城下（しろした）橋です。OH！MOS（オーモス）を越えてすぐの橋でもありますね。

このあたりを歩いているとちょうど橋の手前あたりから、河口の少し向こう側に長井崎の学校が見えるのが個人的なエモポイントでもあります。また橋の上流側を見てみると少し先に光明寺へ続く橋が見えて、更にその奥にはみかん畑のある山々が見える景色がとても綺麗でお気にいりです。

内浦などに流れている川の水が当たり前のように透き通っているのが、自然の豊かさと美しさを感じます。

毎日学校へ向かう通学路ですが、実際に通っている頃より卒業した後のほうが、ふとした時に思い出が蘇ってくるんですよね。急に雨が降って雨宿りした区民館だったり、いつも挨拶を交わすご近所さんやお散歩中の犬の顔だったり、寝坊してダッシュで駆け抜けた交差点だったり……。千歌ちゃんたちがもう少し大人になった頃には、見えていたこの景色も違って感じるんでしょうね。

音に夢中なあの子の
驚く顔が見たくって




まだまだ
終わりたくない
夏！

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.59



井田海水浴場

内浦から車で西へおよそ30分くらいのところにある井田海水浴場です。内浦から海沿いを走り大瀬崎を過ぎて、戸田へ行く少し手前にあります。1月～2月にはこの地域で栽培された菜の花が満開になることでも有名ですね。

ここ井田海水浴場は水がきれいな海水浴場として2020年には全国で1位になったこともあるほど水質に優れていて、その透明度と青色から〝井田ブルー〟とダイバーからも人気です。大瀬崎やららサンビーチなどに比べると少し足を伸ばす必要があるため、結構穴場の海水浴場だったりします。こじんまりとした海水浴場は砂浜ではありませんが、すぐそばでカラフルな魚たちを見ることもできます。堤防に大きく描かれたタカアシガニや戸田の文字が印象的でよね。

ここ井田に来たのは果南ちゃんに善子ちゃんですね。果南ちゃんに連れられてダイビング？

それともAqoursみんなで合宿に来たりしたのでしょうか？

機会がありましたら、派手さはないけれど美しくてどこか懐かしさのある、そんな井田にぜひ訪れてみてくださいね。



Spot No.60

長井崎の突堤

長井崎の先端から突き出た突堤ですね。淡島の方に向かって伸びるこの突堤は、長井崎を象徴する風景の1つですよね。

ここから見回してみると木負の長い堤防と赤い灯台があって、遠くの大きい富士山とその手前にある牛伏山と沼津市街地、目の前にある淡島、内浦の街並みが広がります。この景色を独り占めしているような感覚になる沼津で大好きな場所の1つです。

沼津へ行くようになるといろいろな場所で素敵な景色に巡り合うと思いますが、いつもと違う時間帯にその場所へ行ってみるのも面白いです。街と人々、海と空と雲、陽の光、月明かり、いろいろな表情に出会うことができると思います。ぜひ見たことのない景色を探しに来てみてくださいね。



Spot No.60　長井崎の突堤

わくわくは全部
紙に書きだして
楽しいを届ける
計画進行中！



Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.61



プラサヴェルデ屋上庭園

ここはプラサヴェルデの屋上にある屋上庭園ですね。先日の沼津ファンミーティングの会場にもなったプラサヴェルデはTVアニメの本編中にも登場しています。

正式には「ふじのくに千本松フォーラム」といい、愛称として「緑の広場」を意味するプラサヴェルデと呼んでいるそうです。改めて見てみると建物の内外に木材や植物が多くあしらわれているのがわかります。

プラサヴェルデはかつては沼津機関区という国鉄の車両基地だったそうで、こちら側からは沼津駅をちょうど見下ろすような景色を臨むことができます。反対側からは愛鷹山とその奥に富士山を見ることもできます。

千歌ちゃん達がスクールアイドルとして沼津で活動していたら、この会場でライブを行うこともあるんじゃないでしょうか？　実際の会場を下見したあとは屋上庭園に上がってみんなで作戦会議。そんな情景が浮かんできます。



Spot No.62

蛇松緑道･白銀歩道橋

ここは蛇松（じゃまつ）緑道にある白銀（しろがね）歩道橋です。

蛇松緑道はかつて沼津駅と狩野川河口との間を走っていた通称・蛇松線の廃線跡を整備して作られた緑道です。緑道は閑静な住宅街の間を伸びていて四季折々の草花を見ることもできます。

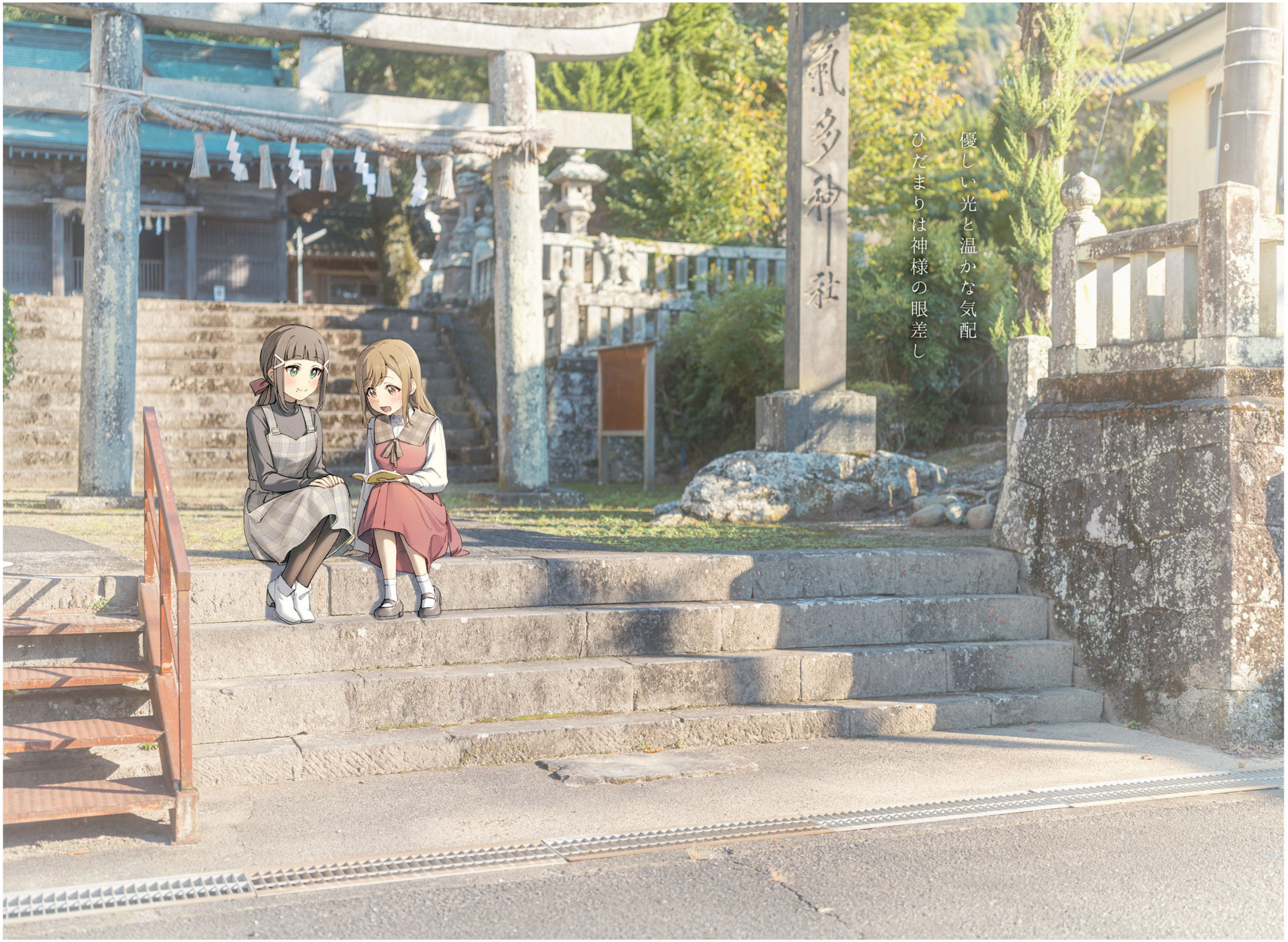
緑道を辿ってみると、起点となる沼津駅近くの運送会社には今でもかつての線路のカーブした曲線とホームの段差が残っています。道中にもレールが残っていたり終点の広場には信号機、みなと新鮮館の先の魚市場にもかつての駅のホームの名残があったりして、昔の景色を想像しながらお散歩するのも楽しいですよ。

鞠莉ちゃんが訪れた白銀歩道橋は旧国道１号線と蛇松緑道が交差するポイントで、緩やかな傾斜で長いスロープの歩道橋です。主塔からケーブルで支えるタイプの歩道橋は珍しいのではないのでしょうか。

港と沼津駅を行き来するルートは、狩野川沿いやさんさん通り等いろいろありますが、いつもより少し遠回りして蛇松緑道の景色と季節を感じてみるのもオススメです。



Spot No.62　蛇松緑道・白銀歩道橋



優しい光と温かな気配
ひだまりは神様の眼差し

Find Our Spot

comment by U5 K

Spot No.63

気多神社の階段



　ここは内浦三津にある気多神社です。内浦の表通りから消防署ととさわや旅館さんの間を入るとすぐに鳥居が見えてきます。

　境内からは海や漁港、三津のバス停などの内浦の景色を見ることができます。交通量の多い海岸線から少し入っただけで、スッと静まり返って風と木々と鳥の声が聞こえてくる感じがとても心地よい神社です。

　夏と冬の間のわずかなこの季節、外の陽だまりで過ごす読書の秋も気持ちよさそうですよね。ゆっくりと色が変わっていく木々と空気感を感じながら、あっという間の秋を彼女たちも楽しんでいるでしょうね。



Spot No.64

びゅうおのトリックアート

　ここは沼津港にあるびゅうおの展望回廊ですね。びゅうおは2022年の4月にリニューアルをしていて、カウンター席を設置したりするなど内装を一新しています。このトリックアートも新しく導入されたものの1つです。

　展望回廊にあるトリックアートは深海魚をモチーフにしていて、このチョウチンアンコウの他、ラブカやシーラカンスなど4種類が描かれています。見る角度によって立体的に見えるトリックアートはびゅうおを訪れる観光客の方々にも人気があるようで、写真を撮っている方を多く見かけました。

　千歌ちゃんたちAqoursもびゅうおのリニューアルを聞いたらやっぱり訪れてみたくなると思うんですよね。そしてトリックアートの前でわちゃわちゃと写真を撮っている様子が目に浮かんできます。



なんどだってまた会えると
信じて歩いてきたこの道
ドキドキとわくわくと
輝くみんなの笑顔が
ここまで連れてきてくれた
もうすぐ始まる約束のステージ
さあ、夢を叶えに行こう！



出会えた奇跡に――ジャンプ！

夏を告げる
夜空に咲く花
地上の花

狩野川花火大会

ラブライブ！サンシャイン!!

Find Our 沼津

～Aqoursのいる風景～

原作
矢立 肇

原案
公野櫻子

キャラクターデザイン
室田雄平

写真
U5 K

イラスト
火照ちげ

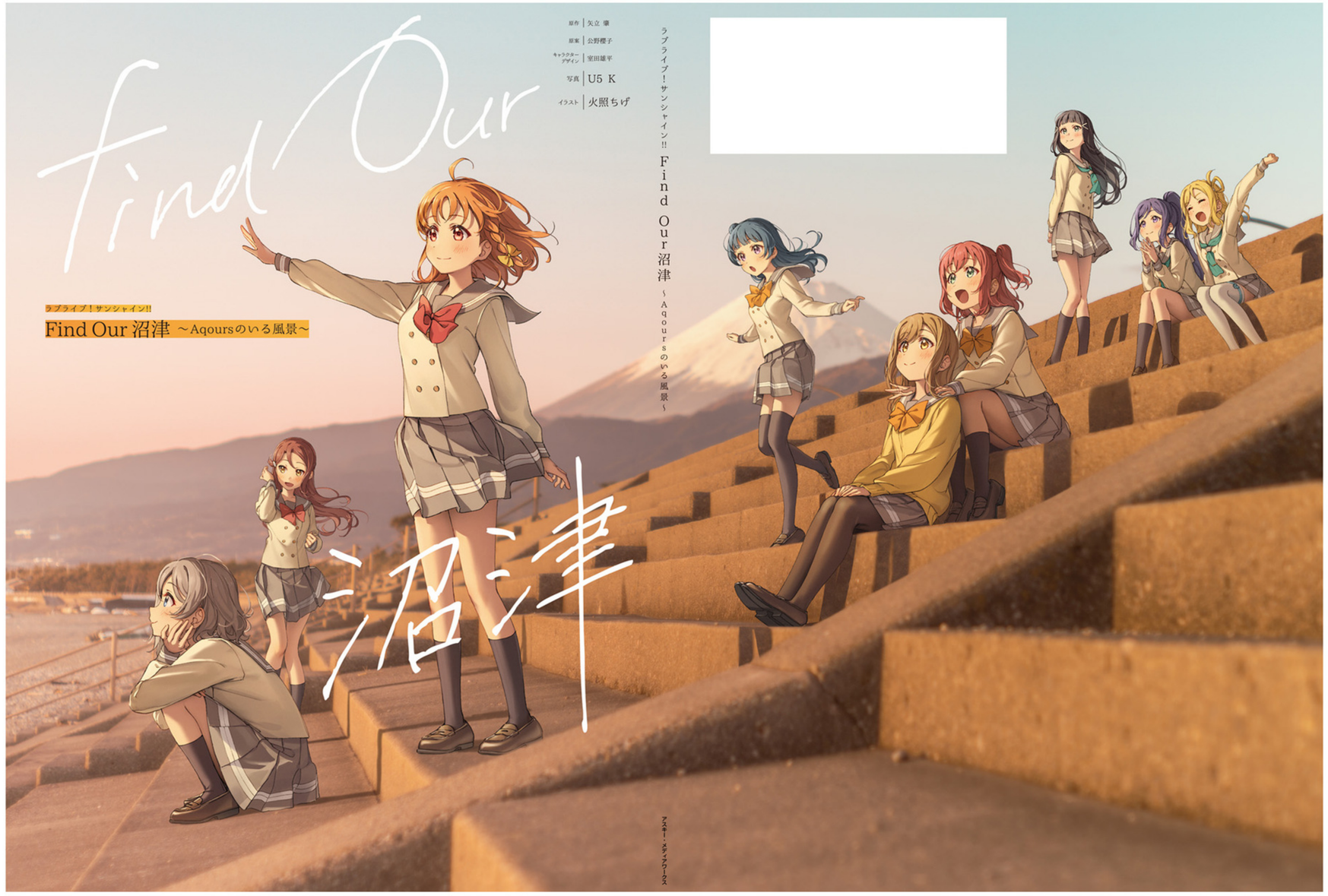
2023年1月31日　初版発行

編集　LoveLive!Days 編集部
構成・制作　中田彩子
編集補助　崎浜大地　宮城咲保

カバー・
本文デザイン　長谷川聡

協力　プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!
駿河湾沼津FC『ハリプロ映像協会』
沼津のみなさん

©2017 プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!
©HOTECHIGE 2023
©U5 K 2023



Find Our NUMAZU

Landscape with Aqours

Find Our 沼津

原作 | 矢立 肇
原案 | 公野櫻子
キャラクターデザイン | 室田雄平
写真 | U5 K
イラスト | 火照ちげ

ラブライブ！サンシャイン!!

Find Our 沼津 ～Aqoursのいる風景～

ラブライブ！サンシャイン!! Find Our 沼津 ～Aqoursのいる風景～

アスキー・メディアワークス



BOOK☆WALKER

ラブライブ！サンシャイン!!
Find Our 沼津
～Aqoursのいる風景～

原作　矢立 肇
原案　公野櫻子
キャラクターデザイン　室田雄平
写真　U5 K
イラスト　火照ちげ

2023年1月31日　発行
ver.001

©2017 プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!
©HOTECHIGE 2023
©U5 K 2023

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『ラブライブ！サンシャイン!! Find Our 沼津～ Aqoursのいる風景～』
2023年1月31日　初版発行

発行者　山下直久
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/
編集　LoveLive!Days編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

カバー・本文デザイン　長谷川聡